

授業概要

今日、多くの人々にとって「宗教」とは何か怪しいもの、怖いもの、そして自分には関係のないものと思われがちです。そして、こうしたネガティブなイメージは、日本ではなじみの薄い「一神教」（ユダヤ教、キリスト教、イスラーム）に対してことさら強いものとなります。しかし、一神教世界は長い歴史と豊かな文化を持ち、さまざまな魅力にあふれています。そして、宗教を学ぶことは、「他者」を知ることの重要性を理解するという点で、私たちが現代社会を生きるためのたくさんのヒントを与えてくれます。この授業では①宗教学の考え方、②三つの一神教の歴史、③現代社会における一神教世界の諸問題、という三つの主題について講義をおこないます。宗教についての知識を身につけ、それを生かして、みなさんひとりひとりが「他者」とのかかわることの大切さについて自分なりの考えや意見を持つことをめざしていきます。

授業計画

第 1 回	宗教学とはなにか 宗教学という学問について、およびその基本的な考え方を学ぶ
第 2 回	宗教を分類する 宗教についての学術的なアプローチについて体験的に学ぶ
第 3 回	ユダヤ教① 聖書時代のユダヤ教からラビ・ユダヤ教の成立までを学ぶ
第 4 回	ユダヤ教② 中世および近現代のユダヤ教の歴史的展開を学ぶ
第 5 回	キリスト教① キリスト教の誕生から中世カトリック世界の完成までを学ぶ
第 6 回	キリスト教② 近現代におけるキリスト教の世界宗教としての展開を学ぶ
第 7 回	イスラーム① イスラームの成立、概要、および中世イスラーム文化を学ぶ
第 8 回	イスラーム② 近現代のイスラーム世界の多様化と問題を学ぶ
第 9 回	教典 宗教学の教典論を学び、三つの一神教の教典を実際に読んでみる
第 10 回	共同体 一神教世界のさまざまな共同体のあり方について学ぶ
第 11 回	聖地 「聖なる土地」の概念と、一神教世界のさまざまな聖地について学ぶ
第 12 回	回心 宗教的回心体験の理論と事例、および現代の宗教復興現象について学ぶ
第 13 回	暴力 一神教世界における暴力と宗教の関係について学ぶ
第 14 回	共存 諸宗教の共存について、中世と現代の事例を学ぶ
第 15 回	まとめ：寛容のために 授業全体の総括をし、宗教的寛容の意義について考える
第 16 回	期末試験（筆記）

到達目標

- ・宗教学の基本的な考え方を説明できる
- ・三つの一神教の概要と歴史を説明できる。
- ・宗教についての学びを通じて、「他者」とのかかわりの意義について自分の意見を表現できる。

履修上の注意

授業全体の構成や評価方法についての説明を初回におこないます。講義はプリント資料とスライドを使って行うが、話を聞き、スライドを見ているだけでは知識は定着しないので、**かならずノートを取る**こと。期末試験では**ノートとプリント資料（スライド含む）のみ持込可**とするので、しっかりノートを取りましょう。

予習・復習

本授業に関連する宗教学やユダヤ教・キリスト教・イスラームについて、入手しやすい文献を授業内で紹介するので、積極的に読んでみましょう。また、インターネットも活用しましょう。講義資料については授業用のウェブサイトからも入手できるようにします。

評価方法

リアクションペーパーの提出を含む平常点（30%）、授業内で 3-4 回実施予定のクイズ形式の小テスト（20%）、期末試験（50%）によって総合的に評価します。

テキスト

- ・教科書は指定しない。必要な資料は各授業においてプリント形式で配布する。
- ・本講義に関連の深い参考文献を挙げる。
『信じない人のための〈宗教〉講義』（中村圭志著）、『一神教とは何か』（小原克博著）、『宗教の世界史』シリーズ（ユダヤ教（1巻）・キリスト教（3巻）・イスラーム（2巻）、山川出版社）